2024年度 秋 要望調査票
青年海外協力隊 / 海外協力隊 / 日系社会青年海外協力隊 / 日系社会海外協力隊

要請番号（JL54524B09）

募集終了

国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ウガンダ	C103 野菜栽培	20～45歳のみ	個別	交替 2代目	2年	・2025/2・2025/3・2026/1

【配属機関概要】

1）受入省庁名（日本語）

農業・畜産・水産省

2）配属機関名（日本語）

NGOササカワ・アフリカ財団
NGO

3）任地（ ナカセケ県カサンビヤ ） JICA事務所の所在地（ カンパラ ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 車 で 約 2.0 時間 ）

4）配属機関の規模・事業内容

配属先は農業開発を通じてアフリカを支援する国際NGOであり、38年以上に渡ってサブサハラアフリカ15か国で事業を展開している。ウガンダは4か国ある重点支援国の一つとされ、農業技術の普及支援や土壌・水を保全する農法指導のほか、貯蔵技術や付加価値向上、農家グループの強化など、主に小規模農家を対象とした支援が行われている。海外協力隊との関わりは長く、2009年以降、27名の隊員受入実績があり、その内2名は現在も活動中である。隊員は配属先がウガンダ国内各地に展開する支援地域を任地とし、配属先のコミュニティファシリテーター等と協力しながら、コメ栽培や野菜栽培支援に取り組んでいる。

【要請概要】

1）要請理由・背景

ウガンダでは就業人口の7割以上が農業を生業としているが、その多くは小規模農家で、生産性の低い農業技術や市場志向性に乏しい経営が行われている。こうした状況下、配属先は2021年より食料の確保、栄養の確保、所得の安定の実現を重点分野とした「5か年計画」を策定し、県の農業普及員等と協力しながら農家支援にあたっている。JICA海外協力隊との連携においても、従来のコメや野菜栽培を越え、より広範囲な協力への期待が高まっている。任地ナカセケ県は、配属先が注力するモデル農家や農家グループが活動しており、当該地域での重点分野の実現を目指すと共に、将来的にはモデルケースとなることが期待されており、2代目となるJICA海外協力隊が継続要請された。

2）予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

モデル農家や農家グループ、農業普及員等と協働し、以下の活動を実施する。
1.野菜の栽培環境や市場の状況等も含め、任地における農家の状況を把握する。
2.モデル農家が運営するデモンストレーション圃場等を活用し、現地ニーズに応じた野菜栽培の試行や提案を行う。
3.モデル農家が実施している近隣農家への技術指導を支援し、またその内容の拡大・充実を図り、農家の栽培技術向上を目指す。
4.栽培技術に限らず、計画的な農業経営や販路開拓、付加価値の向上等についての助言を行うことができればなお良い。

3）隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

小規模灌漑施設を含むデモンストレーション圃場(2か所)、事務所スペース

4）配属先同僚及び活動対象者

■配属先同僚

・配属先職員約10名(通常は首都の事務所にて勤務)
・ナカセケ県農業普及員兼配属先コーディネーター
■活動対象者
・モデル農家、及び農家グループメンバー等の近隣農家
・デモンストレーション圃場の管理作業員複数名

5）活動使用言語	6）生活使用言語	7）選考指定言語
英語	その他	英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：（　　）

[性別]：（　　）　備考：

[学歴]：（大卒）農学系　備考：野菜栽培に関する専門知識が必要

[経験]：（実務経験）2年以上　備考：同僚と同等の経験が必要なため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（サバナ気候）　気温：（15～30℃位）

[通信]：（インターネット可　　電話可）

[電気]：（不安定）

[水道]：（不安定）

【特記事項】

・任地での生活使用言語は、英語もしくは現地語の一つであるガンダ語。現地訓練期間に語学研修を行う。
・デモンストレーション圃場では、キャベツ、トマト、ナス、ピーマン等の栽培が行われている。

COPYRIGHT(C)1995-2015 JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY. ALL RIGHTS RESERVED.